

# Point

2022/3/9 No. 15

JR東労組青年部  
(東日本旅客鉄道労働組合青年部)  
発行責任者 武田 太希

## 申22号「2022年度賃金引上げ等に関する申し入れ」第2回交渉 青年部の主張!

青年部は、22春闘の交渉で青年部員の皆さんの生活実感や労働実感といったありのままの実態を掴むために、「青年部実態調査アンケート」を全青年部員を対象に取り組み、9割の青年部員の皆さんに回答をいただきました。業務が多忙の中ご協力ありがとうございました!

会社に若手のありのままの実態を主張しましたが、会社は「受け止める」としつつも厳しい経営状況であるという主張を繰り返し、若手の実態に向き合う姿勢ではありませんでした。

### 組合(青年部)

### 会社

転職を考えたことがある

**「転職を考える」青年部員は63.7%。**  
「給料やボーナスが低く、希望した地区や職種で働けないから」「賃金が低下し制度も改悪され、働く社員のことよりも利益しか追求していないから」「会社の未来が良くなる想像ができないから」「人材の流出が増え、要員が足りなくなり、休日出勤が増えており、負のスパイラルとなっているから」「将来へ不安があり、やりがいも感じないから」  
**この実態に会社は向き合うべきだ!**

JR東日本に魅力を感じますか?

**「JR東日本に魅力を感じない」青年部員は91%。**  
最たる理由は「労働の質や量に見合っていない低い賃金だ」という声が大多数。会社の魅力を決定する最大の要素は賃金だ!**青年部員の実態に向き合うべきだ!**

昨年の賃金カットに満足していますか?

**「定期昇給係数2のカット、さらには期末手当の年間支給月数の4か月に満足していない」青年部員は95.8%。**  
「元々賃金が低い中で定期昇給、ボーナスを減らされ生活が苦しくなった」「業務量と反比例するのはおかしい」「単純に前年度より低いのが理解できない」「昨年の赤字の責任を現場に転嫁するような姿勢は受け入れられない」「身を削り頑張っている現場社員から削る姿勢が許せない」  
**満額回答でなければ青年部員は納得しない!**

- ◇賃金は最たる要素である。
- ◇会社としても今がいいとは思っていない。
- ◇賃金引き上げは総額人件費に与える影響が大きい。
- ◇定期昇給係数2は賃金カットではなく総合的に判断したものの。
- ◇賃金だけでなく安心して働ける処遇改善。
- ◇生産性向上に対する社員への還元。

青年部実態調査 アンケート

2022年 1/8



22春闘について実態調査アンケートの結果についてご報告いたします。また、「JR東日本が労働者の生活や働きやすさの向上に努めること」を掲げ、賃金引き上げや福利厚生改善などに取り組むこととしており、青年部員からの要望も踏まえ、労務改善を進めています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。アンケート結果の詳細については、本紙の別冊「労働者の声」に掲載いたします。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。JR東日本労働組合青年部(東労組青年部) 発行

東日本旅客鉄道労働組合青年部(東労組青年部)

ご協力ありがとうございます!

社員の声を第一としない経営姿勢は変わっていない!  
職場からたたかいをつくりだし、満額回答を勝ち取ろう!

